

1 研究主題

『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会を創り出す 日本人を育てる学校教育の推進』
～オホーツクの大地に誇りと愛着をもち、ともに未来を拓き社会を創造する子どもを育む学校経営の推進～

2 研究推進の概要

(1)第51回オホーツク管内校長会教育研究大会（4年ぶりの会同開催を実施した）

【期 日】 令和5年8月18日（金）

【会 場】 北見市 ホテル黒部

【内 容】 研究主題に基づき、4領域24課題を設定し、4分科会で小・中各1本の提言に基づいて、3年継続の3年次として課題の究明を図った。

①『学校経営』

子どもたちが生きる未来社会を見据えた明確な学校経営ビジョンをもち、創意と活力に満ちた学校経営を推進していくための具体的方策を明らかにする。

②『教育課程』

校長のリーダーシップのもと、しなやかな知性と創造性、豊かな人間性等を育むため、教育課程の編成・実施・評価・改善について具体的方策を明らかにする。

③『指導・育成』

教職員の資質・能力の向上を図り、展望や参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制を確立させ、学校の中枢を担うミドルリーダーや次代の学校経営を委ねる管理職人材を、学校現場において育成していくための具体的方策を明らかにする。

④『危機管理・教育課題』

子どもたちの安全・安心を確保し、地域・家庭・関係機関と連携し対応する危機管理体制づくりや命を守る安全教育を推進するために、校長が果たす役割と指導性について具体的方策を明らかにする。

(2)ブロック別校長会研究会（5ブロック）

- | | | | |
|---------------|--------------|-----|---------------|
| ① 網走ブロック研究大会 | 令和5年7月25日（火） | 網走市 | オホーツク文化交流センター |
| ② 北見ブロック研究大会 | 令和5年7月26日（水） | 美幌町 | しゃきっとプラザ |
| ③ 遠軽ブロック研究大会 | 令和5年7月25日（火） | 遠軽町 | ホテルサンシャイン |
| ④ 紋別ブロック研究大会 | 令和5年7月27日（木） | 紋別市 | 紋別文化会館 |
| ⑤ 北見市ブロック研究大会 | 令和5年7月25日（火） | 北見市 | 端野総合支所 |

(3) 研究集録の作成 ～ 研究のまとめ

(4) 全日中研究大会への参加 管内より7名が大分大会に参加

3 研究の成果と課題

(1)第51回オホーツク管内校長教育研究大会についての成果と課題

- ① 4年ぶりの会同による研究大会を開催することができた。一昨年からの3年次計画の3年目を迎え、研究の趣旨をふまえた問題提起が行われ、研究協議を通して「校長の指導性」に焦点化した具体的かつ有効的な手立てを共有することができた。
- ② 4つの分科会は、「学校経営」「教育課程」「指導・育成」「危機管理・教育課題」で、小学校と中学校1本ずつの提言がなされ、それぞれの提言について、協議Ⅰ（提言発表と質疑応答）、協議Ⅱ（課題協議・交流）、そして、全体交流をしたことにより、内容を深めることができた。
- ③ 提言者に対する助言・指導は、管内研修部員とブロック研究部長が行った。各市町村研修部の関わり方に配意し、研究課題に添った自校を中心とする取組に加え各ブロック校長会が組織的に関わる研究推進に努め一定の成果を得たが、今後も組織的な研究推進の工夫・改善が必要である。

(2)ブロック別校長研究大会についての成果と課題

- ① 5ブロック全てで会同の研究大会を開催できた。ブロック独自の課題や研修内容になるよう取組を進め、実態と課題に即した校長の指導性についての研究協議が深まった。
- ② 各市町村では実情に応じた研修を進めており、会員数の少ない町村では研究の進め方に苦慮しているものの、各ブロックの独自性が生かされた。

(3)その他

- ① 3か年継続研究の最終年を終え、各校長がこれまでの成果と課題を踏まえつつ自校の経営や教育課題を探り、一校を経営する自覚に立った実践研究を継続して進めていくことが大事である。
- ② 4年ぶりの会同開催により、研究のまとめの年にふさわしい大会とすることができた。

1 研究主題

『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会を創り出す 日本人を育てる学校教育の推進』
～オホーツクの大地に誇りと愛着をもち、ともに未来を拓き社会を創造する子どもを育む学校経営の推進～

2 研究主題設定の趣旨

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により、社会構造等の環境が大きく急速に変化し、予測が困難な時代となっている。また少子高齢化が進む中で、一人一人が持続可能な社会の担い手として、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。

このような急激に変化する中であっても社会全体でのウェルビーイングの実現を目指し、一人一人が夢や希望を持ち、自らの能力や可能性を信じ、初めて出会う様々な問題にも主体的に挑戦し、解決したり、新たな価値を創造したりする力や、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働的に議論し、納得解を導きながら様々な社会変化を乗り越えていく生き抜く力の育成が重要である。

そのために、オホーツク管内校長会は、これまでの研究の成果を継承しつつ、基本主題を『未来を切り拓き ともに生きるよりよい社会を創り出す 日本人を育てる学校教育の推進』と設定し、学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性を究明しようとするものである。

3 研究内容

(1) 『学校経営』

子どもたちが生きる未来社会を見据えた明確な学校経営ビジョンをもち、創意と活力に満ちた学校経営を推進していくための具体的方策を明らかにする。

(2) 『教育課程』

校長のリーダーシップのもと、しなやかな知性と創造性、豊かな人間性等を育むため、教育課程の編成・実施・評価・改善について具体的方策を明らかにする。

(3) 『指導・育成』

教職員の資質・能力の向上を図り、展望や参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制を確立させ、学校の中核を担うミドルリーダーや次代の学校経営を委ねる管理職人材を、学校現場において育成していくための具体的方策を明らかにする。

(4) 『危機管理・教育課題』

子どもたちの安全・安心を確保し、地域・家庭・関係機関と連携し対応する危機管理体制づくりや命を守る安全教育を推進するために、校長が果たす役割と指導性について具体的方策を明らかにする。

4 研究推進計画

(1) 第52回オホーツク管内校長会教育研究大会

① 期 日 令和6年8月16日（金）

② 場 所 北見市 ホテル黒部

③ 内 容 講演、4分科会研究協議（グループ討議を中心に、教育局及び退職校長会からの助言）

(2) ブロック別校長研究会（全5ブロック）

① 網走ブロック研究大会	令和6年7月26日（金）	網走市	オホーツク文化交流センター
② 北見ブロック研究大会	令和6年7月30日（火）	訓子府町	訓子府町公民館
③ 遠軽ブロック研究大会	令和6年7月30日（火）	遠軽町	ホテルサンシャイン
④ 紋別ブロック研究大会	令和6年7月30日（火）	紋別市	紋別市文化会館
⑤ 北見市ブロック研究大会	令和6年7月26日（金）	北見市	北見市端野総合支所

5 研究組織

管内校長会研修部（部長1・副部長1・部員3）



各ブロック研修部長（全5ブロック）



（提言作成への支援・協力）



市町村研修部長（全18市町村）

提言作成（小4・中4）